

息を合わせ、力強く

第18回鷹巣祇園太鼓審査会

第18回鷹巣祇園太鼓審査会(同太鼓振興会主催)が11月23日、市文化会館で開かれ、小中高生、会員ら130人が、華麗なハチさばきを披露しました。祇園太鼓は、裏と表で異なる打法の両面打ちが特徴。子どもたちを対象とした審査では、8団体81人が、リズムム感や力強さ、礼儀作法などを基準に満場の観衆の前で腕前を競い、大きな拍手が贈られました。(9頁に関連記事)



団体の部には8小学校区  
が審査に臨みました。  
(写真は初参加の米内沢  
小学校区の子どもたち)



広報 [No.89]

きたあきた

12/1

[1日.16日 月2回発行]

2008年